

=伊豆諸島をマラソンとウォーキングでめぐる旅と婚活企画の下見レポート=

伊豆七島のうち5島を3泊4日でめぐる！楽しくも無茶？な旅をしてきました～！

河野秀夫(こうのひでお)

大田区職員(伊豆大島差木地出身、東京島嶼郷友会副理事長)

【プロローグ】

NPO 法人「ふるさと日本元気塾」では、快く身体を動かす「快動」によって健康寿命を延ばし、そのためのイベントを各地で開催することで地方を活性化させたいと、さまざまな活動を行っている。

今年から新たな試みとして伊豆諸島をめぐるマラニック(※)による島しょ振興、さらには同イベントに独身男女を集めることによって島の婚活を盛り上げようと「伊豆諸島・島巡りマラニックツアー」を企画している。今回はその下見ツアーのレポートが届いているので紹介したい。

※マラニック: 走っても歩いてもいいので長い距離を楽しみながら移動すること。マラソン+ピクニックの造語。

【概要】

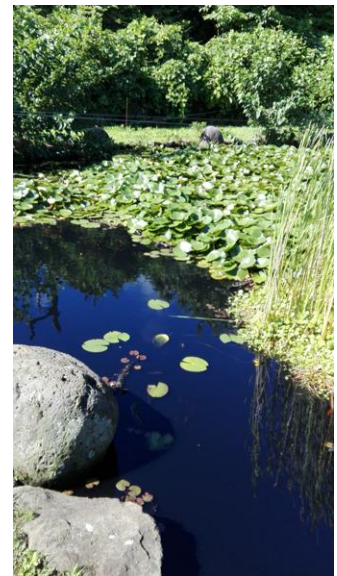
東海汽船の協力により、7月14日(金)東京発の夜行大型船に乗り、船を乗り継いで7月17日(海の日)までの4日間で、利島、神津島、新島、式根島、大島の5島を廻り、各島でランニング&ウォーキング、地域のみなさんとの交流を行った。

【レポート】

<7月14日 15日(船中1泊) 竹芝から利島>

深夜 23:00 発の東海汽船の大型船「さるびあ丸」、2等和室に乗り込み、早々に就寝。翌朝6時前には最初の寄港地大島元町港に降りる人々の慌ただしさに目を覚まされ、早朝の大島を甲板から望む。

大島を出港してほどなくして船は利島に到着。滞在時間が3時間ほどなのですぐに島一周ウォーキングに出発。途中、島には珍しい蓮の池があり、勤労福祉会館で「東京島めぐりパスポート」(しまぼ)を入手。一周を終え港に帰って来るとあまり待つこともなく次の船が入港してきた。



島には珍しい淡水の池。

蓮が咲き、よく見ると鯉や金魚が泳いでいる【利島】



【利島港から宮塚山を望む】



【「東京島めぐりパスポート」(しまぼ)】



<7月15日 利島から神津島>

ジェットホイル船にて神津島へ

神津島では「民宿文栄」さんに到着して一休み。その後天上山へトレッキングに向かう組と海水浴チームにわかれて行動。

宿で一泊後、翌朝は流人墓地や毎朝島の人々が墓参を欠かさないという濤響寺を散策。朝食後車で多幸湾に向かい、多幸の名水を満喫。透明度が高く、すっきりと冷たい水を堪能し、港へ向かう。



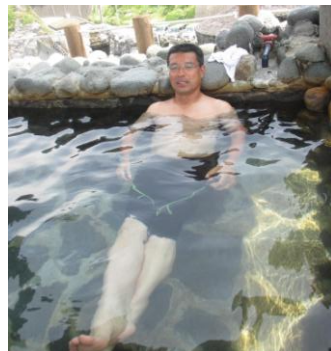
【前浜にて】



【多幸湧水】

<7月16日 神津島から新島を経て式根島へ>

新島へ向かう船は車も積める神新汽船のフェリー。1時間15分で新島に到着。新島の滞在時間は1時間40分と短いのでウォーキングは断念。港近くの無料温泉でオーシャンビューの快適な湯を満喫。港で昼食をとって式根島へ向かう船に乗船。



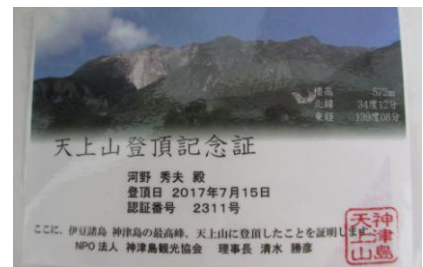
【湯の浜露天温泉にて】

<7月16日 式根島>

あっというまに式根島に到着。宿に落ち着いたら全員が宿近くの白石川海水浴場へ海水浴に。ここは温泉の湧いているところがあり、ちょっとした海水温泉気分が味わえる。ただし範囲がかなり狭い。



【浅野島巡りマラニック実行委員長から「天上山登頂記念証」(神津島観光協会発行)を授与される筆者】



【天上山登頂記念証・表】



【天上山登頂記念証・裏】



【海の温泉から上がった今回の参加者【式根島】左から浅野さん、筆者、ジョビエさん、山縣さん】

<7月17日 式根島から大島へ>

朝食後土産店などを散策し、港へ。

港まで車で送ってくれた宿のご主人は元ランナーで、娘さんも現役ランナーであることが判明。伊豆諸島島巡りマラニックに大いにご賛同いただく。港へ行く途中立ち寄った泊海岸は素晴らしい海岸で、全員が「次はここに来たい」との思いで一致した。



【泊海岸】

<7月17日 大島>

滞在時間はたったの1時間55分。それでも到着後すぐに観光協会に向かい、この旅5つめのスタンプを押してもらい、全員が75ポイントを獲得。なんと効率のいいこと。なじみの定宿の「旅荘富士や」に無理を聞いてもらいランチ。

駆けつけて下さった元大島町観光協会会長で東京七島新聞顧問の阿部比左志氏など大島の方々とはマラニックや婚活についてカレーを食べながらミーティング。どちらにも積極的な意見をいただき、大いに意を強くして大島を後にした。



【左から阿部氏、高野氏、中田氏、
田村事務局長】



【右から中田氏、磯山氏、高野氏、
山縣 Jhovie、筆者】

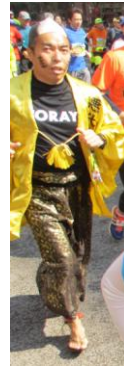
【参加者プロフィール】

1. 浅野弘万(あさのひろかず)

NPO法人ふるさと日本元氣塾理事

通称「タフマン」、サブスリー経験のある実力ランナー。

全国のウルトラマラソンを行脚し、悪代官や関取のコスプレランナーとして有名。



2. 河野秀夫(こうのひでお)

伊豆大島出身であり、ウルトラマラソンを走るランナーでもある。

郷土愛からスポーツによる地域振興や島しょ振興をめざす伊豆諸島の島巡りマラニックの企画意図に賛同して参加。

3. 山縣正彦(やまがたまさひこ)

NPO法人ふるさと日本元氣塾副理事長

元・伊豆大島ウルトラランニング実行委員会事務局長にしてウルトラランナーという経歴から伊豆諸島島巡りマラニックの推進を目指す。

自身のセカンド婚活経験も活かして婚活イベントの事業化に意欲。マルイチ倶楽部主宰。

4. 山縣ジュバイラ(やまがたじゅばいら)

通称Jhovie(ジョビエ)さん。山縣氏婦人。フェイスブックを活用した婚活で一昨年山縣氏と再婚。

5. 田村広修(たむらひろのぶ)

NPO法人ふるさと日本元氣塾理事(事務局長)、ランナーであり、マルイチ倶楽部事務局長。